



**[MUSIC]**

**ジャック・タチ・スタイル**  
 発売元: Rambling RECORDS / 販売協力: バイオニアLDC(株)  
 ¥2,667(税別) RBCS-1067

**ジャック・タチ・リミックス**  
 発売元: Rambling RECORDS / 販売協力: バイオニアLDC(株)  
 ¥2,667(税別) RBCS-1068  
 \*全国有名レコード店ほかにて好評発売中!

**[BOOKS]**

**『タチー「ぼくの伯父さん」ジャック・タチの真実』**  
 マルク・ドンドゥ著 / ソフィータシェフ協力  
 佐々木秀一訳 / 国書刊行会発行  
 ¥2,400(税別) ISBN4-336-04394-9

**E/Mブックス 4 ジャック・タチ**  
 坂尻昌平監修 / エスクワイアマガジンジャパン  
 ¥2,000(税別) ISBN4-87295-0580-5

**『ジャック・タチの映画の宇宙』**  
 坂尻昌平監修  
 エスクワイアマガジンジャパンより7/11発売予定  
 ¥1,200(税別)

**『ぼくの伯父さんは、のんきな郵便屋さん』**  
 一映画「のんき大将(カラー版)」より  
 J・タチ作 / E・ラモット絵 / 沼田元氣訳  
 平凡社より7/18発売予定 / ¥1,700(税別)

**『ジャック・タチ映画の研究ノート』**  
 ミシェル・シオン著 / 武者小路実昭、武者小路真理恵訳  
 愛育社より7/19発売予定 / ¥1,300(税込)

**輸入雑誌「Telerama」別冊**  
**『ジャック・タチ特集号』**  
 M... IN FRANCEより7月上旬販売予定  
 ¥2,700 / \*2002年発行 入手困難 限定500部

**『ぼくの伯父さん』**  
**『ぼくの伯父さんの休暇』ノベライズ本**  
 ジャック・タチ原案 / ジャン・クロード・カリエール作  
 ビエール・エテックス絵 / 小柳 帝訳  
 メディアファクトリーより今夏発売予定

**[CLOTHE]**

**新ブランド「HULOT」= ユロが6月30日より**  
 全国のラ シャンブルド インショップで先行発売。  
 ジャック・タチのエスプリをベースで感じさせる  
 新ブランド「HULOT」= ユロは、  
 フレンチトラッドを基本としながら  
 モダンなカラーとカットイングでアレンジした  
 ハイクオリティな商品展開を予定。  
 (問)HULOT 0120-290-370

**[GOODS]**

永遠の名作「ぼくの伯父さん」  
 のオリジナル・ポスターほか、ポストカード、  
 缶バッジ、シール、ハンドタオル、パッキングテープ  
 など続々発売予定。  
 (問)ハートアートコレクション 06-6350-9775  
 http://www.heart-artcollection.co.jp

**Afternoon Tea**

“ぼくたちの伯父さん”ユロ氏が、この夏アフタヌーン  
 ティーに登場します。ぜひご来店ください。  
 場所: アフタヌーンティー・ザ・ジェネラルストア銀座  
 期間: 7月18日(金)~8月6日(水)  
 ジャック・タチの映画をイメージした店内ディスプレイを  
 展開。映画の写真展示や特別にジャック・タチ関連商品  
 の販売も行います。また、アフタヌーンティー・ペイカー&  
 ダイナーでは映画『ブレイタイム(新世紀修復版)』を  
 イメージしたオリジナルカクテルも登場します。  
 \*7/18(金)からお買い物をされたお客様にプレゼント!  
 アフタヌーンティーオリジナルTシャツをアフタヌーン  
 ティー・ザ・ジェネラルストア銀座のお客様だけにプレゼ  
 ント。アフタヌーンティー・リビング六本木ヒルズ、千駄ヶ谷  
 ではコースターをプレゼント!  
 詳しくは [www.afternoon-tea.net](http://www.afternoon-tea.net) (7/11UP)をご覧ください。

**agnes b.**

7/11(金)よりアニエスベー青山店、銀座店他にて「ブレ  
 イタイム」からイメージしたコーナーを展開予定。期間  
 中に「ブレイタイムオリジナルカード」を差し上げます。  
 (数に限りがありますので、予めご了承ください。)  
<http://www.agnesb.co.jp/>

**劇場初回先着来場者プレゼント**

7/19(土)アニエスベーより  
 「ブレイタイムオリジナルカード」を50名様にプレゼント!  
 下記各日20名様に、ジャック・タチ作品缶バッジプレゼント!  
 7/28(月)「ぼくの伯父さんの休暇」  
 8/4(月)「ぼくの伯父さん」  
 8/11(月)「のんき大将」  
 提供:ハートアートコレクション

配給・宣伝: ザジフィルムズ / 後援: フランス大使館 文化部 / 宣伝協力: クレストインターナショナル 協力: agnes b. Afternoon Tea HULOT HEART 公式サイト: <http://www.zaziefilms.com/tati>

**7月19日(土)~8月29日(金)夏休みロードショー!**

7/19(土)-25(金)	「ブレイタイム(新世紀修復版)」125分	8/9(土)-15(金)	「ぼくの伯父さんの授業」28分+「のんき大将(カラー版)」80分	*上映時間は劇場まで お問い合わせください。 *1週目はレイト・ナイトの 上映も予定しております。
7/26(土)-8/1(金)	「左側に気をつける」12分+「郵便配達員の学校」15分+「ぼくの伯父さんの休暇」87分	8/16(土)-22(金)	アンコール上映 *上映作品は劇場へお問い合わせ下さい	
8/2(土)-8(金)	「ぼくの伯父さん」116分	8/23(土)-29(金)		

**全作品共通前売券絶賛発売中!** ヴァージンシネマズ劇場窓口にてご購入頂いたお客様に限り特製ポストカードをプレゼント!  
 1回券¥1,500(税込)/4回券¥5,500(税込)プレスシート付  
**ヴァージンシネマズ 六本木ヒルズ**  
 六本木ヒルズ けやき坂コンプレックス内 tel.03-5775-6090 <http://www.virgincinemas.co.jp>



**Festival de Jacques Tati**

Jour de fête  
 Les vacances de monsieur Hulot

Mon oncle  
 Play time

Soigne ton gauche

L'école des facteurs

Cours du soir

ジャック・タチ フィルム・フェスティバル



# ぼくたちのお洒落でクールな伯父さんが帰ってきた!

没後20周年を迎えた2002年のカンヌ映画祭やフランス映画祭横浜でオマージュを捧げられた監督、脚本家、俳優のジャック・タチ。パントマイム芸人出身のタチはパイプをくわえて前のめりに歩く「ぼくの伯父さん」のユロ氏という映画史に残るキャラクターを生み出し、独特のナンセンス・ギャグと洒落な作風で一世を風靡した。アメリカ・モダニズムの影響を受けた超モダンなセンスは今観てもクールで新しい。日常を淡々と描きながらも現代文明を鋭く批評し、時代を先取りしたタチの世界が再評価され、今蘇る。



## CLITIQUE ① MASAHIRA SAKAJIRI

21世紀、ジャック・タチが復活する。おかしな郵便配達フランソワが、奇妙な紳士ユロ氏が、きまぐれな風とともに、やってくる。四角張った世界に、彼らはちょっとしたつむじ風を巻き起こし、こぼれを解きほぐす風変わりな天使なのだ。そこでは正しい方向を示すべき矢印は、あやふやに回転し、人を生真面目な日常生活の軌道から逸脱させ、ロータリーを走る車たちは、メリーゴーランドの木馬となって、無償の回転運動をはじめだろう。さしたる変化もなく反復される日常生活が、あるいは避暑地でもてあます退屈な休暇の日々が、そのまま飲ばしき「祭りの日」へと変貌する。2002年、タチの没後20周年を記念して、カンヌ映画祭でタチ特集が組まれた。目玉はタチ生涯の大作『プレイタイム』(67)のデジタル修復版だ。従来よりも五分長く、音声、映像ともに、新たな作品としてよみがえり、人々を感嘆させた。その後、パリでのロードショー、他のタチ作品の再公開、雑誌の特集や単行本の出版が

相次ぎ、フランスではときならぬタチ・ブームに沸くことになる。その波がようやく一年遅れて日本にもやってくる。ルノワールやブレッソンとともにヌーヴェル・ヴァーグの先駆でもあるタチの映画は、「すべてであると同時に無でもあるもの」(ゴダール)へのオマージュであり、世界と人生への至上の贈り物だ。トリュフオーは、タチのことを「火星で最初の映画作家、『火星版』ルイ・リュミエール」と呼び、「もはやわれわれには見えないものが見え、聞こえないものが聞こえ、われわれとは異なったやり方で映画を撮る」『プレイタイム』の監督を讃えた。タチの映画は、永遠に新しい波であり、誰にでも開かれている。『のんき大将』の木馬を載せたトレーラーを、思わず駆けて追いかけた少年のように、スキップしながら、フランソワやユロ氏の奇妙な歩みについていってみよう。いよいよタチの「祭りの日」がはじまる。坂尻 昌平 (映画研究家)



## CLITIQUE ② GENQUI NUMATA

かつては、仏国でのタチの映画祭のおり、映画を見ている観客から「Oncle!」とか「Mon Oncle!」という掛け声を聞いた。われわれ日本人が粋な歌舞伎役者に唸ると同じように、画面に向かって、つい声を掛けてしまうと云ったあんなばいだ。それがみな、いい年をした、小父さん然とした甥っ子たち。つまりは、フランスなどという国では、伯父さんから甥っ子に伝えるべき、自由な生き方としての伝統が脈々と受け継がれている。ある種、彼らは、社会的には、どうしようもない若者や、だらしのない大人たちかも知れない。それでも「伯父さん」という一本筋の通った生き方の先生であれば、どんな悪口を云われても、本人はへえっちら。そしてそれを聞いた人達は、しかめ面をするのではなく、むしろ微笑んでしまう類のものなのだ。沼田元氣(ボエムグラファー)



『タチは天才だ』  
by 異オデヴィッド・リンチ  
(BRUTUS CINEMAより)

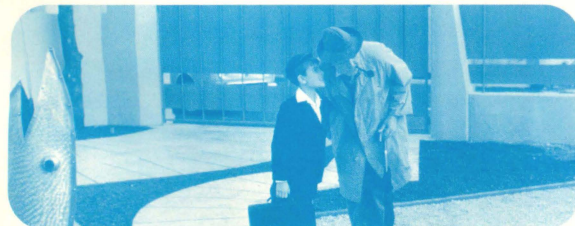
## JOUR DE FÊTE



### 『のんき大将』(カラー版)

無声喜劇の再来として絶賛されたタチの長編第一作。フランス中部の田舎を舞台に、タチ扮する郵便配達フランソワが、村の祭りで見た米国式スピード郵便配達を模倣して、のどかな田園地帯で、ドタバタ騒動を繰り広げる。ミュージック・ホールで鍛えたタチの身体芸と奇妙な音響効果の組合せのおかしさを存分に発揮した快作。  
フランス/1949年(モノクロ版:1949年、パートカラー版:1964年)/カラー/80分/スタンダード/日本語字幕:寺尾次郎  
1949年度ヴェネチア映画祭最優秀脚本賞 1949年度フランス映画大賞  
監督:ジャック・タチ/製作:フレッド・オラン(キャディフィルム)/脚本:ジャック・タチ、アンリ・マルケ/撮影:ジャック・メルカントン/編集:ソフィー・タチシェフ(カラー版)/音楽:ジャン・イアトウ/協力:ピエール・タチシェフ(カラー版)/出演:ジャック・タチ(郵便配達フランソワ)、ギイド・ドゥコンブル(無役者ロジェ)、ポール・フランクル(無役者マルセル)

## MON ONCLE



### 『ぼくの伯父さん』

人気を博したユロ氏の日常生活を描くタチの長編第三作。プラスチック工場社長のアルベル氏のモダン住宅、そこには夫人と息子のジェラルドが住んでいる。少年は下町に住む無職のユロ伯父さんと遊ぶのが大好き。鮮やかな色彩や奇妙な音響、軽快な音楽、不思議な住居、どこかしら滑稽な人々や犬たちもそこはかとなくおかしい。本作でタチは国際的名声を獲得する。  
フランス/1958年/カラー/116分/スタンダード/日本語字幕:柴田香代子  
1958年度アカデミー賞最優秀外国語映画賞 1958年度カンヌ国際映画祭特別賞  
1958年度フランス批評家協会メリエス賞  
監督・脚本・台詞:ジャック・タチ/製作:スペクタフィルムほか/美術協力:ジャック・ラグランジュ/撮影:ジャン・ブルグワン/音楽:フランク・バルセリーニ、アラン・ロン/助監督:ピエール・エテックス/出演:ジャック・タチ(ユロ氏)、ジャン・ピエール・ソラ(アルベル氏)、アドリアヌス・セルヴァンティ(アルベル夫人)、アラン・ペケール(ジェラルド)

## SOIGNE TON GAUCHE



### 『左側に気をつけろ』(短篇)

ミュージック・ホールのスターだったタチが、ルネ・クレマン監督で主演した戦前の貴重な短編。スリムで敏捷な身ごなしも優雅な若き日のタチの姿は必見。農場の特設リングで、プロボクサーの相手をすはめになった作男ロジェがタチの珍妙なボクシング騒動。郵便配達のプロ型も登場。ゴダールが『右側に気をつけろ』でオマージュを捧げたことでも有名。  
フランス/1936年/モノクロ/12分/スタンダード/日本語字幕:寺尾次郎  
監督:ルネ・クレマン/製作:フレッド・オラン(キャディフィルム)/脚本:ジャック・タチ/音楽:ジャン・イアトウ/出演:ジャック・タチ(ロジェ)、マックス・マルテル、J・オレール

## COURS DU SOIR



### 『ぼくの伯父さんの授業』(短篇)

『プレイタイム』の撮影中断時に同じセット、役者を使い、助監督を監督としてタチ脚本・主演で撮られた必見の短編。タチ教授の珍妙な講義と演習からなるこの授業では、釣りやテニス、乗馬といったミュージック・ホール時代の十八番と、繊細な観察に基づく身振り芸、さらに驚くべきことに『郵便配達の学校』の授業場面の舞台版さえも見られる。  
フランス/1967年/カラー/28分/スタンダード/日本語字幕:柴田香代子  
監督:ニコラス・リボフスキー/製作:テレシブ、スペクタフィルム/脚本:ジャック・タチ/撮影監督:ジャン・バダール/音楽:レオ・プツ/出演:ジャック・タチ(教授)、マルク・モンジュ(生徒)、『プレイタイム』の出演者たち

## PRESENTATION DES FILMS

Festival de Jacques Tati



## LES VACANCES DE MONSIEUR HULOT



### 『ぼくの伯父さんの休暇』

長編第二作にして、タチの別名ともなる無口で風変わりな紳士ユロ氏が初登場する記念すべき作品。浜辺のホテルで避暑客たちとユロ氏の過ごす、少々ドタバタ気味の夏休み。ユロに憧れる少年、若い娘へのほのかな恋心、稀薄なギャグに微笑み、のどかな憩いの時を、波の音や子供たちの歓声とともに味わえる稀有にして至福の喜劇。タチのテーマ音楽も本作で確立する。  
フランス/1953年/モノクロ/87分/スタンダード/日本語字幕:柴田香代子  
1953年度ルイ・デリュック賞 1953年度カンヌ映画祭国際批評家賞  
監督:ジャック・タチ/製作:フレッド・オラン(キャディフィルム)/脚本:ジャック・タチ、アンリ・マルケ/撮影:ジャック・メルカントン/音楽:アラン・ロマン/出演:ジャック・タチ(ユロ氏)、ナタリー・バスコー(マルチエス)、ヴァランティーン・キヤマックス(イギリス人女性)

## PLAY TIME



### 『プレイタイム』(新世紀修復版)

タチの長編第四作。巨大な都市のセット「タチヴィル」でも知られる仏映画史上屈指の超大作にしてタチの夢の集大成。パリに来た米人観光客の若い娘バーバラと、高層ビルに面会に来たユロ氏の軌跡が切なく交錯する。画面にひびく多様な人々、無数の出来事すべてが美しい。世界は万人のための回転木馬となる。(新世紀修復版)の鮮やかな画面と音響に乾杯!  
フランス/1967年/カラー/125分/ヴィスタ/日本語字幕:寺尾次郎  
1968年度パリ・アカデミー・デュ・シネマ グランプリ 1969年度モスクワ国際映画祭銀賞  
1969年度ウィーン映画祭大賞 1969年度ストックホルム・スウェーデン映画祭オスカ  
監督・脚本:ジャック・タチ/製作:スペクタフィルムほか/美術協力:ジャック・ラグランジュ/撮影:ジャン・バダール/美術:ユージェニス・ロマン/音楽:フランシス・マルク/編集助手:ソフィー・タチシェフ(修復)監督:フランソワ・エドゥアール/出演:ジャック・タチ(ユロ氏)、バルバラ・デネック(若い女性バーバラ)、ジョルジュ・モンタン(ジファール氏)

## L'ECOLE DES FACTEURS

### 『郵便配達の学校』(短篇) \*日本初公開

戦後、チャップリンのように監督・脚本・主演することになるタチの最初の短編で、無声喜劇の再来として絶賛された作品。郵便配達の学校で訓練を受けたタチ扮する郵便配達員が、所定時刻の航空便に間に合せようとスピード郵便配達を実行するドタバタ騒動。冒頭の配達訓練場面の絶妙の面白さ!長編『のんき大将』の原型としても興味深い快作。  
フランス/1947年/モノクロ/15分/スタンダード/日本語字幕:寺尾次郎  
1947年度マックス・ランデル短編喜劇映画賞  
監督:脚本:ジャック・タチ/製作:フレッド・オラン(キャディフィルム)/撮影:ルイ・フェリックス/編集:ジャン・イアトウ/出演:ジャック・タチ(郵便配達フランソワ)、ポール・ドゥマンジュ(郵便配達員)

